

しせき  
 史跡 二十一人討死の碑

うちじに ひ

(所在地) 玉川四丁目六―三

玉川コミュニティセンター敷地

昭和十五年(一九四〇)現在  
 の下福島中学校東裏門あたり  
 に、建立されたが、のちここに  
 移設された。

天文元年(一五三二)八月、当地を訪れた本願寺第十世證如上人は、近江の佐々木定頼の手勢に不意をつかれた。このとき、野田・福島の間徒衆が證如上人を守って戦い、二十一人が犠牲になった。証如上人は小船に乗り、無事泉州方面に逃れた。

その時に感謝のため「御書」が下された。それは三点、圓滿寺・春日神社・南徳寺に残されていたが、南徳寺のものは戦災で焼失し、圓滿寺のものは平成二二年(二〇〇〇)大阪市指定文化財に指定された。極楽寺の境内には「二十一人討死之墓」がある。



【碑文】

(正面) 二十一人討死之碑

(裏面) (判読不可)

